

Ⅲ 学校運営協議会 令和2年度の記録

(様式第4号)

学校運営協議会 会議概要

1	会議名	第1回 学校運営協議会
2	日時	令和2年4月10日 午後5時45分から午後6時45分まで
3	会場	浦里小学校 校長室
4	出席者	井澤良夫会長、田村実英副会長、安齋理江委員、杉村晴彦委員 齋藤惇委員、大井正一郎委員、平林千春委員、片桐芳之委員
5	市側出席者	峯村秀則教育長、緑川文明学校教育課課長、加々井道男学校教育担当係長
6	公開・非公開等の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ <input type="checkbox"/> 一部公開 ・ <input type="checkbox"/> 非公開
7	傍聴者	なし
8	会議概要作成年月日	令和2年4月12日
協議事項等		
1	開 会	
2	教育長挨拶	<p>皆様方には、日頃から浦里小学校の学校運営委員会の委員として学校を支えていただいていること、心より御礼を申し上げます。令和2年がスタートしましたが、コロナウイルスに関わって上田市は昨日からすべての学校を休校にしました。新しい年度が始まって子どもたちは期待に胸を膨らませて学校に来ていたわけですが、休校ということで残念でなりません。27日から再開と考えていますが、学校が始まりましたら皆様方に学校を盛り上げていただきたいと思います。</p> <p>さて、令和元年度浦里地区の皆さんが学校においていただいていた活動をしていただいた訳ですが、延べ人数が3100人ということで、これほど大勢の皆さんが学校に入っていたというケースは上田市で一番です。文科型コミュニティスクールということで、信州型コミュニティスクールより一歩踏み込んだ形のコミュニティスクールをしていただいています。3期9年の活動が終わりまして、今年から4期目に入ると伺っています。この活動は、本校の学校教育目標「自分のよさを切り開く子ども」を支えていただいています。アフリカの諺に「子ども1人を育てるには村1つがいる」があります。子どもが多様な価値観を持ちながら大きく育ていくためには、大勢の方の支えが必要だという諺です。その内容につきましては、お米作り、野菜作り、漬物、わら細工、クラブ活動、川遊び等々関わっていただいています。昨年からは家庭科ボランティアにも入っていただいているとお聞きしています。私が小学校高学年の担任の時、ミシンの授業が非常に大変で、糸が切れたとかトラブルがあると大騒ぎでしたが、そのところを地域の皆さんが担っていただいていること、大変有難いことだと思います。</p> <p>上田市は、今後「ふるさと学習」を大切にしていきたいと考えています。今年から小学校の学習指導要領が改定になり「主体的・対話的で深い学び」というキーワードの元に進められています。「主体的に生きる」ということは、探究的な学びが必要になってきます。そういう意味で「ふるさと学習」は、重要なものだと認識しています。子どもの疑問を子どもたちが自らの手で調べて解決していく。それは新しい指導要領にも十分生きるということで、昨年、県の事業説明の際にも総合的な学習の時間の活動を求めたいという依頼を受けています。ますますコミュニティスクールの重要性が増してくる訳ですが、浦里小学校のオリジナリティを十分に発揮していただいて、今後子どもたちのためにご尽力いただきたいと思います。今年もお世話になりますが、よろしく願いいたします。</p>

3 学校運営協議委員委嘱

峯村教育長より各委員へ

4 学校運営協議会規約確認

学校長：学校運営協議会規約をご覧ください。第2条（目的）については、信州型コミュニティスクールとは違い一歩踏み込んだものであるため、様々なご意見を学校に賜りたいと思います。第3条（組織）については、8名以内の委員で構成することになっています。第4条（会長・副会長）については、委員の互選により決定することになります。第6条（会議）については、教育課程の編成等についてこの後説明させていただきます。第8条（守秘義務）については、ぜひ秘密が守られるようお願いいたします。第9条（議事）については、過半数の委員の出席がなければ会議を開くことができないので、お忙しい中ですがご出席をお願いします。第10条（会議の公開）については、傍聴したい人がいれば妨げないということになっているのでお願いします。その他、お読みください。

5 学校運営協議会委員の自己紹介

6 正副会長の互選

会長 井澤 良夫 委員

副会長 田村 実英 委員

7 今後の日程の確認

学校長：別紙の資料をご覧ください。新型コロナウイルス感染拡大防止については、当面4月9日から24日まで臨時休校となっています。お助け隊による学校支援については、1学期は学校の行事や学習に不可欠な支援があると判断する時のみ、感染予防対策を取りながら学校からの支援をお願いしていく予定です。今年度の学校行事については中止、延期の判断をしていくものがあるので、よろしくをお願いします。年度当初の学校運営の動きについては、4月17日（金）の参観日は中止になります。塩尻市教育委員会・学校支援コーディネーターの本校視察があるので、学校運営協議会の皆様にも参加していただく予定ですが、今後の状況によって検討し、お知らせしていきます。ご意見があればお願いします。

委員：上田市川西地区には学校支援コーディネーターはいらっしゃいますか。

学校長：学校の窓口は教頭になります。お助け隊はコミュニティ委員長がその役になります。

教育長：塩尻市からの依頼は何名ですか。

学校長：8名。市教委がつけば、数名プラスになります。

教育長：今後の状況によってお断りすることも視野に入れて検討してほしい。

学校長：連絡を取り合いながら検討し、報告したいと思います。

8 令和2年度 学校運営について

学校長：P5（今年度の計画）をご覧ください。年間6回で計画しています。主な内容については、記載内容をご確認ください。P6（運営）をご覧ください。昨年度までの3年間は「関わり合い」を重点

に取り組んできました。成果が出てきたというご意見をいただいています。さらに学校目標に近づくために「一人でも…」に重点を置いていきたいと思えます。職員組織は、P6にある通りです。事務局は教頭が務めます。学校教育目標「自分のよさを切り拓く」に関わって、職員は少人数であることを生かして「関わる」「認める」「包み込む」の姿勢を大切にして教育活動に当たっていきます。学校目標にさらに迫るために「一人でも」に重点を置いていきます。以下4つの具体目標「進んで勉強しよう」「思いやりのある人になろう」「丈夫な心と体を作ろう」「ふるさと（浦里）に学ぼう」に「一人でも」を具体的に位置づけて実践していきます。P8をご覧ください。令和2年度グランドデザインとなっています。ご意見があればお願いします。

委員：「一人でも」ということは、みんなできるとできるが一人だとできないという場面が見受けられたということでしょうか。

学校長：友だちにつられてしまうという場面が見られました。自分で判断していくという力をさらにつけていきたいと思えます。

委員：自分たちも「一人でも」というキーワードを心がけながら活動に取り組んでいきたいと思えます。

教育長：P6に「子どもが自ら問いを立て追究し問題解決していく授業づくり」とあります。これは上田市全体にとってとても大事なことと捉えています。この内容とP7の「ふるさとに学ぼう」をうまく結びつけてもらいたい。教育委員会でも座学で学ぶ学びが果たして主体的に学ぶ場であるのかという疑問が出されています。講師の話をみんなで聞くというのはその時間で完結してしまい、子どもの新たな学びにつながっていかないという指摘を受けています。地域に出て学習することは非常に大切なことなので、ぜひお願いしたい。総合的な学習の時間は年間70時間あります。年間通して1つのテーマでなくていいので、柔軟に子どもたちの学びの自由度をあげていただけると有難いです。

学校長：昨年度の6年生のふるさと学習発表会で「地域の課題」に取り組みました。アンケート用紙で地域の意識調査をし、地域の方の捉えている課題を集め、課題解決のためにどうすればいいのか提案する発表をしました。

教育長：いい取り組みですね。

委員：これだけ休みが続くと、どこで取り戻すのでしょうか。

学校長：今のところ行事を中止したり長期休業の1部を登校日または補習にしたりすることで学習を補完していきたいと思えます。

教育長：2週間の休業で、子どもたちが不利益を受けることを心配しています。これから先、罹患者が減っていく保証はありません。2週間を取り戻すのは相当な努力がいります。長期休業を使わざるを得ない状況が考えられます。新型コロナウイルスの終息を願いたい。

学校長：以上の取組を行っていききたいと思えます。よろしくお願いします。

<承認>

9 コミュニティ・スクール実践目標

学校長：P9～13（職員組織）については、ご確認ください。P14（コミュニティスクール実践目標）については「広めよう！あいさつ運動」「メディアとじょうずにつき合おう」の2つで進めていきたい。ノーメディアデーにおいて地域と連携して行ったり、保護者の皆様にもPTAメディアコントロールとして進めたりしていきたい。よろしいでしょうか。

<承認>

10 こまゆみ教室について

学校長：P15（こまゆみ教室）については、長野大学早坂ゼミの学生との活動になります。子どもたちにとっては、大学生との貴重な関わり、大学生にとっては将来の職業選択にとってとても良い機会になっています。5年目になります。今年度も続けていきたいと思えます。ただ、新型コロナウイルスの関係で、今年度は難しいのではないかと危惧しています。連絡を取り合って検討していきたいと思えます。活動については、学校運営協議会の皆様を紹介し、理解を求めていきたいと思えます。また、地域の小泉強さんが土曜日に木彫教室を開いています。だんだん参加者も増えてきました。ふるさと

学習発表会で作品を展示しています。この活動についても、小泉さんと相談をして開催を延期している状態です。状況を見ながら判断していきたいと思います。

教育長：「授業を行いたいという希望があれば」というのはどういうことでしょうか。

学校長：以前は全盲、難聴の学生が自らの体験を語ったり児童の疑問に答えたりする内容で人権学習につなげた授業を行ったことがありました。

教育長：大学生は子どもたちに溶け込みやすい。目的を明確にし、授業の主体を担任において行ってほしいと思います。

<承認>

11 その他

委員：会議録に資料が添付されていると、地域の方もどのような活動をしているのかわかりやすいのではないのでしょうか。できれば資料を添付して、わかりやすく発信してほしいと思います。できれば、上田市から発信してほしいと思います。

井澤：学校からはホームページで公開していますね。

教育長：文科型コミュニティスクールは県教委の見解と若干のずれがあります。文科型コミュニティスクールは、県下でも僅かです。活動の内容は、他の地域でも参考になります。上田市としても発信していけたらと思います。

12 閉会の言葉

今回は、第2回7月14日（火） 開始時刻は午後5時45分